



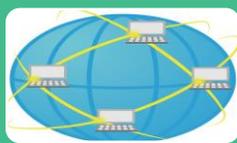
情報教育

千葉大学教育学部附属中学校の情報教育のあゆみ



インターネットが普及する以前(平成元年～平成5年)

- 平成2年度より1人1台ノート型パソコンを整備し、パソコンを使った授業を開始
- 数学科では個別学習で、技術・家庭科ではソフトウェアの活用及びプログラミング学習等で活用



インターネット普及の黎明期(平成6年頃～平成10年頃)

- Windows95が出回る以前から、インターネットに関する授業を開始
- 全国の中学校の中で最も早くホームページを掲載
- PC室だけでなく、各教室、特別教室からインターネットが利用できるようになる



インターネット普及の成長期(平成11年頃～平成15年頃)

- 情報社会の影の部分の教育を重視して研究発表(当初は情報倫理教育といっていた)
- 情報モラルという言葉が誕生し、情報モラル教育を推進
- 情報モラル教育に関する教材やテキストを作成し、情報モラル教育の普及に寄与



インターネット普及の成熟期(平成16年頃～平成23年頃)

- 携帯電話の急速な普及に伴い、いち早く携帯電話に関する授業を開始
- ICTという言葉が使われるようになり、各教科等の活用が広がる
- 平成20年度以降のスマートフォンの普及に伴い、保護者への啓発を推進



教育の情報化推進期Ⅰ(平成24年～平成28年)

- 各教室、特別教室に高速無線LAN及びプロジェクタまたは電子黒板を整備
- 1人1台個々にタブレット端末を所有させ、「1人1台タブレット端末の教育的効果と運用上の課題」を研究主題に研究発表会を実施(平成26年度～平成28年度)



教育の情報化推進期Ⅱ(平成29年～)

- デジタル教科書を使った授業の推進
- ICTを使ったアクティブラーニングの推進(スタンディングテーブルを使った授業の試み等)
- 3DCADソフト及び3Dプリンタを使ったコンピュータ制御学習 等

教育学部との連携

教育学部との連携研究の一環として教育学部教員が選択授業を中心に授業を実施

教科	授業タイトル
数学	数学アラカルト
数学	ゲームと数学
数学	違和感と数学
社会	「もし〇〇だったら？」の視点で読み解く社会
技術	ロボットコンテスト



*平成29年度の授業実践例

*ロボットコンテストは平成24年度より5年連続で関東大会出場